

当院において甲状腺分化癌術後に 放射性ヨード内用療法を受けられた方 およびそのご家族の方へ

—「甲状腺分化癌に対するI-131補助療法の治療成績」へご協力のお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 陽子線治療学講座 吉尾 浩太郎

1) 研究の背景および目的

甲状腺分化癌術後の放射性ヨード内用療法は標準的な治療法です。甲状腺がん診療ガイドラインでは甲状腺分化癌で術後再発の可能性が高いと思われる方に放射性ヨード内用療法を推奨しており、岡山大学病院においても本治療を行っています。

今回の検討は、放射性ヨード内用療法を受けられた方の治療成績について検討することを目的としています。

2) 研究対象者

2004年4月～2019年5月の間に岡山大学病院放射線科において甲状腺分化癌術後に放射性ヨード内用療法を受けられた方46名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2026年12月末日

4) 研究方法

当院において放射性ヨード内用療法を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに治療成績および予後因子について調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年齢、性別、診断名
- ・血液検査、内服した線量、甲状腺全摘出術を受けた時点からの期間
- ・初めて内服した時点から手術した部位や他臓器への再発・転移がない期間、生存期間

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院放射線科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は

施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 放射線科

氏名：岡部将仁

電話：086-235-7313（平日：9時00分～17時00分）